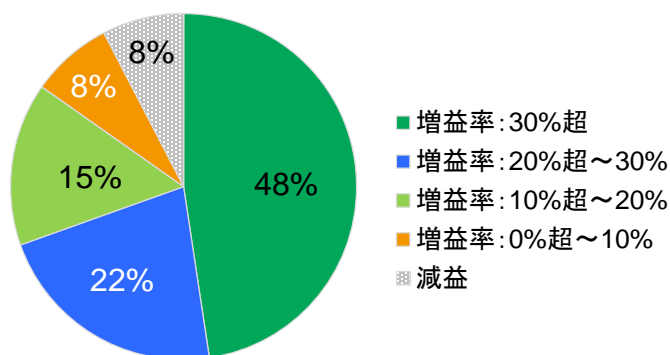


## 米国銀行の2018年第3四半期決算の動向 ～相対的に良好な決算～

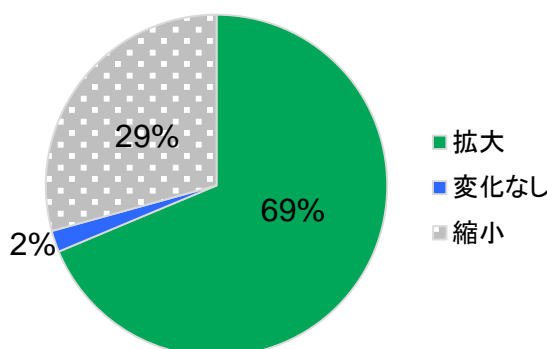
米国銀行の2018年第3四半期決算が大方出揃いました。米国銀行株式指数を構成する銘柄のうち約7割の銀行において予想を上回る決算となっています。前年同期比で、約7割の銀行が20%超の増益、利ざやの拡大を示しています。また、貸出残高については、9割程度の銀行において増加となりました。

### 米国銀行の2018年第3期四半期の決算概要（2018年10月末現在）

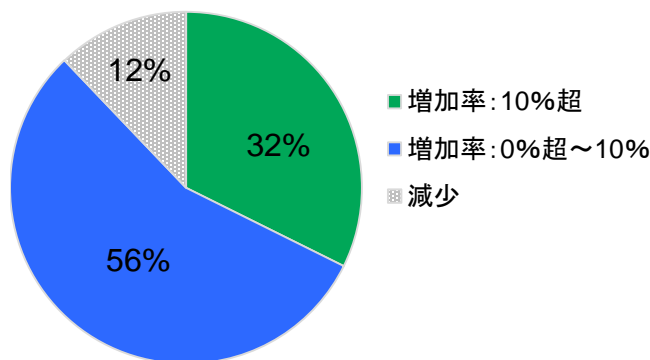
EPS（1株当たり純利益）増減率別の銀行数割合（前年同期比）



利ざやの拡大・縮小別の銀行数割合（前年同期比）



貸出残高の増減率別の銀行数割合（前年同期比）



#### 【ご参考】米国銀行業界のM&A動向

2017年第3四半期	2018年第3四半期
35件	32件
2017年1月～9月	2018年1月～9月
131件	120件

米国銀行業界のM&A件数は、2018年第1四半期については規制緩和の動向を見極める動きから、例年よりも少なくなりましたが、その後は例年並みの発生件数となっています。

\* 四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

米国銀行株式指数: S&P総合1500銀行株指数(米ドルベース)

※上記決算概要は2018年10月末現在の米国銀行株式指数の構成銘柄のうち、決算情報が入手できたものを集計しています。

出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

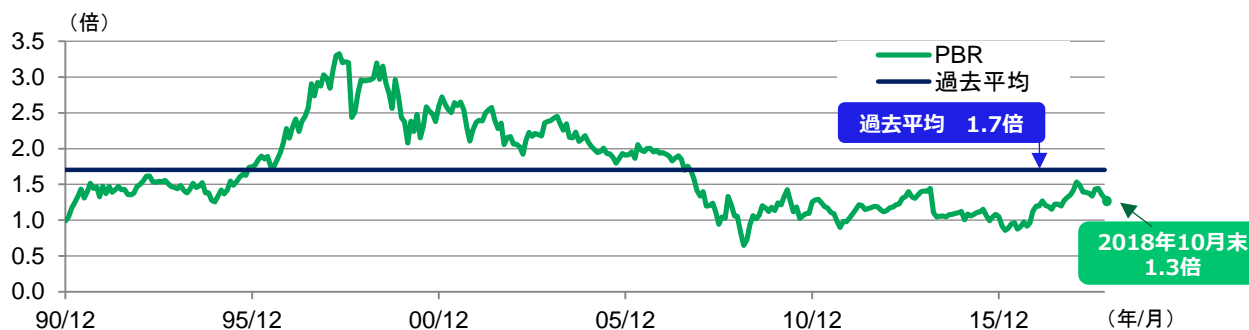
堅調に推移してきた米国銀行株式指数は、2018年3月下旬以降、世界的な貿易摩擦懸念が強まり、投資家心理が悪化したことから横ばいで推移しました。9月以降、銀行決算に対する懸念から下落に転じ、10月には、米国の利上げのペースが加速するのではないかと懸念が生じ、株式市場全体が下落したことなどから、同指数も影響を受けました。米国銀行株式の2018年10月末現在のPBR(株価純資産倍率)は1.3倍と、過去平均の1.7倍と比較して依然として魅力的な水準にあります。また、10月末現在の予想PER(株価収益率)は11.4倍と、米国株式全体の予想PERの16.6倍と比較しても、相対的に低い水準にあります。市場の落ち着きとともに、業績が堅調で魅力的なバリュエーションの銀行に注目が集まると考えられます。

### 米国銀行株式指数と米国地方銀行指数のパフォーマンス推移

(2016年12月末～2018年10月末、日次、配当込み、米ドルベース)



### 米国銀行株式指数のPBR推移 (期間: 1990年12月末～2018年10月末、月次)



米国銀行株式指数: S&P総合1500銀行株指数(配当込み、米ドルベース)、米国地方銀行株式指数: S&P総合1500地方銀行株指数(配当込み、米ドルベース)

米国銀行株式のPBRおよび予想PER: S&P500銀行株指数(米ドルベース)、米国株式の予想PER: S&P500種指数(米ドルベース)

出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

#### 【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があります、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会